

# 奥田建設株式会社



代表取締役  
奥田 智氏

## ●企業の概要

住 所：奥田建設株式会社  
代 表 者：代表取締役 奥田 智  
住 所：仙台市青葉区八幡6丁目9-1  
設 立 年：昭和40年（創業：昭和24年）  
業 種：総合建設業  
資 本 金：88百万円  
従 業 員 数：76名

## ●事業の概要

宮城県内有数の総合建設業。「宮城県行政庁舎」「ユアテックスタジアム」「夢メッセ」等、宮城県・仙台市を代表する数多くの建築物の施工実績あり、宮城県の都市開発、経済発展に大きく貢献。

また近年、建設業の新規分野進出にも積極的に取組み、加美町の地元農業者・自治体と連携しワサビ栽培事業を展開。地域活性化と雇用拡大に積極的に取組む。



本社社屋



わさび茶屋

# 宮城県・仙台市を代表する数多くの建築物を施工し、都市開発・経済発展に大きく貢献、建設業の新分野進出としても注目を浴びる宮城県内有数の総合建設業



富谷ジャンクション



仙台スタジアム



ビオトープ創出



ギフトセット



栽培作業

## ●受賞の理由

昭和24年創業以来、「より豊かな地域社会の実現に貢献する」を経営理念に掲げ、企画から設計、施工、管理、保守に至るまで、不動産、プランニング、メンテナンス部門を含めたシステム産業化を目指した総合建設業として営業活動を展開。当社のもつ高い技術力は、一般住宅からビル建築、ホテル、工場、学校等のあらゆる建築物と道路、河川等の土木工事に遺憾無く発揮され、宮城県の都市開発、経済発展に大きく貢献している。また、コンクリート塊などの建設副産物の削減と再生資源化する建設リサイクルに取組み、仙台市蕃山でのビオトープ創出など地球環境問題についても積極的な対応を図っている。

近年、業界のリーダー企業として、公共工事の現状に対応するために、国土交通省の促進していた建設業者の新分野参入を積極的に検討し、加美町の良質で豊富な湧き水を使用したワサビ栽培に着目。平成17年、「ワサビを加美町の特産品として育て、地域活性化を」という自治体と当社の熱い想いが地元農家に理解され、連携してワサビ栽培事業を開始。参入当初は、農地法や栽培過程での様々な問題に直面するが、地元農家・自治体の強力なサポートにより問題を克服。平成19年に初出荷し、現在「薬菜ワサビ」は、加美町の特産品として幅広く認知されるに至る。更なるブランド化に向け、「薬菜わさび茶屋」をオープンし、飲食事業へ参入したほか、加工品も積極的に開発。このような事業活動が高く評価され、平成21年、国の農商工連携支援事業に認定され、今後の成長が期待される。

当社は、創業以来、建設・土木工事を通して宮城県経済の発展に大きく貢献したほか、近年は、建設業の新分野進出の先駆者として、リスクに挑戦し地域活性化および雇用拡大に積極的に取り組む姿勢は高く評価できる。新分野進出で宮城県を代表する企業として、今後更なる発展が期待される企業である。